

つなげよう つながろう
ふたばのわ



写真は3月11日の
追悼花火と
キャンドルナイト



▶11年分の思いを込めて フラワーズエール2022(P2~3)

- ▶FUTABA Art District 第8弾が完成(P4~5) ▶50年の歴史を形に コーラスふたば50周年記念誌を発行(P4)
- ▶双葉町ありがとうメッセージを配信しました (P5) ▶スマイルフォト(P6)
- ▶中野地区復興産業拠点 立地企業の紹介(P7) ▶放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・今月のオフショット(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

 町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>





11年分の思いを込めて フラワーズエール 2022

令和4年3月11日から13日までの3日間、双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館にて、双葉町復興支援員主催の3・11追悼行事「フラワーズエール」を開催しました。

フラワーズエールは、日本の花絵師の第一人者である藤川靖彦氏が、震災後、被災地を花でいっぱいになりたいという思いから始めたプロジェクトです。双葉町では、東日本大震災追悼イベントとして、毎年3月11日に藤川氏のご協力のもと花絵を制作してきました。

今年5回目となるフラワーズエールの花絵のテーマは「感謝と教訓」です。2000本のカーネーションの花びらと300本のガーベラの花に11年分の思いを込め制作しました。

「双葉町が早く元の生活に戻れま



右から 千葉一伸さん、榎本温子さん、橋本和さん

すように…」「双葉町には頑張っしてほしい」などそれぞれの思いを口にしたながら、ガーベラの花を献花する来場者の姿も見られました。

また、イベントの中で、声優による「ありがとメッセージ」の朗読会も行われました。双葉町公式YouTubeチャンネルで配信している「双葉町ありがとメッセージ」の中から、町民の生の声の一部を、声優の橋本和さんが東日本大震災から原発事故、町外への避難から現在までの道のりを紹介するとともに、千葉一伸さん、榎本温子さんがその間にいただいたご支援に対する感謝の思いを読み上げました。丁寧に読み上げられるひとつひとつのメッセージに、訪れた人たちは真剣に耳を傾けていました。

イベントの様子は双葉町公式YouTubeチャンネルで配信予定です。



来場者の皆さん

ガーベラの花言葉は「希望」



双葉町産業交流センター(F-BICC)・JR双葉駅東西自由通路でも展示を行いました

東日本大震災・原子力災害伝承館の他に、双葉町産業交流センター(F-BICC)とJR双葉駅東西自由通路でもフラワーアートの展示を行いました。F-BICCには献花台を設置し、たくさんの方に献花

していただきました。双葉駅には未来へ走る常磐線をイメージしたモニュメントを設置。見に来た方は、モニュメントを撮影する等、様々な形でフラワーズエールに参加していました。



双葉町産業交流センター(F-BICC)



JR双葉駅東西自由通路



FUTABA Art District

第8弾が完成



JR双葉駅前



双葉町消防団
第二分団屯所

2月21日、コーラスふたばのメンバー3人が50周年記念誌の発行を伊澤町長に報告し、冊子を贈りました。

コーラスふたばは、昭和49年9月に発足して以降、現在まで町のイベントで歌声を披露するといった活動を続けています。本来なら令和2年度に50周年記念コンサートを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止。その代わりに、記念コンサートで披露する予定だった曲を撮影した記念動画を双葉町公式YouTubeチャンネルで公開し、記念誌の内容も予定していたよりもページ数を増やすなど、皆さんで力を合わせてコーラスふたばの長

い歴史の節目を迎えました。

今回の記念誌について、コーラスふたば代表の谷津田敬子さんは「冊子の内容はコーラスふたばの50年の歩みですが、この内容を掲載するにあたって資料を探すのに苦労しました。当時の写真やパンフレットとかは双葉町に置いたままになっているものもあるのです。それでも、先輩メンバーの方が今までの写真などを全部きれいに持っていて、それがスツケース1つ分もあつたんですよ。たくさん歴史が詰まっています。50年という節目を迎えましたが、これからも変わらず町民の方たちに歌声を届け続けたいですね」と話していました。

50年の歴史を形に

コーラスふたば50周年
記念誌を発行

コーラスふたば50周年記念コンサートの動画はこちらのQRコードから見るができます。

あぶくま信用金庫双葉支店



東邦銀行双葉支店



3月10日から3月12日までの3日間、双葉町内でOVER ALLsによる壁画制作が行われました。

2020年から始まったプロジェクト『FUTABA Art District』では、2021年6月までにVol.00～Vol.07まで計8つの壁画が制作され、今回はVol.8として町内の4カ所です『双葉町の人々』が描かれました。(株)OVER ALLs代表の赤澤岳人さんは壁画について「今年6月以降に双葉町内への帰還開始を目

指しているということで、一足先にアートで双葉町に人が戻ってきた様子を描かせていただきました。双葉町にゆかりのある、そして私たちがこのプロジェクトを進めるにあたってお世話になった25人の人たちは、今まで7つの壁画を描かせていただいていたが、それは双葉町民の皆さんのご協力があったからこそだと思います。なので、本当にありがとう、という感謝の気持ちも込めています」と話していました。

すべてのありがとうメッセージはこちらのQRコードから閲覧することができます。



2017年より開始し、現在までに100本を超えるメッセージをいただいております。今年度は3人の方に快く撮影にご協力いただき、メッセージをいただきました。ご協力いただいた皆さま本当にありがとうございます。

3月28日より「双葉町ありがとうメッセージ」の令和3年度分を配信しています。このプロジェクトは、東日本大震災以降、町と町民が全国の皆さまからいただいた物心両面にわたる多くのご支援に対し、改めて「ありがとう」を伝えようという思いから生まれたものです。



双葉町ありがとう メッセージを配信しました

#103 熊 勝好さん



避難先で受けた
日本全国からの支援に感謝

#104 萩川 正道さん



避難先で親切にしてくれた方々へ
今の自分ができること

#105 梅田 壽嘉さん



飼い犬を連れて避難した先々で受けた
温かい支援

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



3月11日(金)～13日(日)
フラワーズエール2022
(双葉町)



3月11日(金)
双葉中学校卒業証書授与式(いわき市)



3月15日(火)
富山一郎様表彰状伝達式(浪江町)



3月23日(水)
ふたば幼稚園・修了証書授与式
(いわき市)



今月の情報掲示板はお休みします

今月の紹介企業①

株式会社丸井

株式会社丸井は、双葉町で創業し、震災前から町内で事業を行っている地元企業です。上下水道整備工事、住宅・施設等の設備工事及び保全・修繕工事等を行っております。震災後はいわき市に事務所を移転し、双葉町の復旧・復興に取り組んでまいりましたが、2021年9月に双葉町との立地協定を締結しました。今後は中野地区復興産業拠点に事業所を設置し、町で操業を再開する予定です。双葉町の事業所新設に伴い、新たな人員の採用とともに技術者の育成を行うことで、より多くの復興事業、さらにその先の双葉町の発展を目指し、これまで以上に地元への貢献ができるよう尽力してまいります。



いわき営業所所長 井戸川 永隆さんの声



震災後は避難先のいわき市に事務所を移転しておりましたが、避難指示解除を控える双葉町での仕事が増加し、町に事務所機能を設けたいと感じる機会が多くなりました。これまで双葉町で生まれ育ち、暮らしていたからこそ、町に戻って仕事をしたいという強い思いを持っていたので、中野地区復興産業拠点への立地を決めました。私は、復興とは終わりが無いものだと思います。どれだけ町の建物が元に戻っても、その先を考えなくては復旧で終わってしまいます。震災によって甚大な被害を受けた双葉町の強みを生かし、多くの人が立ち寄ってくれるような町になれば、私自身、町で暮らしていた者として非常に嬉しい限りです。地元企業である当社としても、双葉町のより明るい未来のために、精一杯協力していきたく思います。

今月の紹介企業②

株式会社中里工務店

株式会社中里工務店は、1967年に南相馬市小高区(旧小高町)で創業しました。福島第一原子力発電所を皮切りに、全国の原子力発電所のうち半数以上の建設に携わりました。現在では土木工事や建築工事など、総合土木建築業として事業を行っています。双葉町においては、2021年4月に中野地区復興産業拠点で操業を開始し、町の復興に取り組んでいます。

当社はこれまでの歴史の中で、3つの「ツクル」にこだわりを持って歩んできました。1つ目に、設備や施設を「造る」こと。2つ目に、失った街並みをもう一度「創る」こと。3つ目に、生まれ育ったこの土地と文化を愛し、働く喜びを分かち合える人材を「作る」こと。当社の総合土木建築業としての躍進は、地域の、未来の、人材の成長そのものだと捉え、引き続き努力を続けてまいります。



代表取締役 中里 徹哉さんの声



震災によって、自分たちが精魂込めて造った発電所があのような姿になってしまったことは大変残念に思います。しかし、原子力発電所の復旧作業のために集まってくれた作業員は、昔一緒に働いた仲間たちでした。私にとってこのことが、何事にも代えがたい財産であることを実感した瞬間でもありました。私自身もそうですし、当社の社員は皆「福島をこの手で復興したい」という共通の思いを持って仕事をしています。特に、双葉町は震災の被害を強く受けた場所であるからこそ、この地域の復興には非常に大きな意義があると感じています。双葉町の街並みを取り戻し、そしてその先を見据えた地域の発展に貢献するため、精一杯取り組んでまいります。

※撮影時のみマスクを外していただいております。

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和4年3月25日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.11~0.23
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.12
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.07
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.06
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.05
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.05
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.06
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



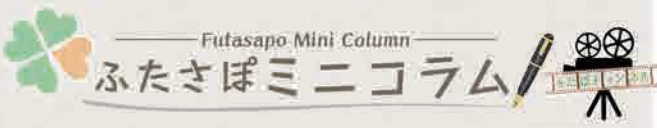
双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

原子力規制委員会ホームページより

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 3月25日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.20
新山	新山公民館	—	0.14
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.15
新山	双葉南小学校	—	0.16
新山	双葉中学校	—	0.16
新山	県立双葉高等学校	—	0.19
新山	中央公園	—	0.18
新山	高万迫	—	調整中
下条	双葉総合公園	2.60	0.51
下条	双葉町役場	—	0.17
郡山	郡山公民館	1.48	0.28
細谷	双葉町仮設処理第一施設北側	—	調整中
細谷	消防屯所前	—	調整中
細谷	細谷公民館	—	0.27
三字	三字公民館	2.53	0.13
山田	山田農村広場	24.47	2.81
石熊	石熊公民館	12.10	1.38

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 3月25日
長塚	双葉町体育館	6.25	0.41
長塚	長塚二公民館	3.26	0.19
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.13
長塚	町西住宅	—	0.15
長塚	JA ふたば北部営農センター	—	0.96
長塚	双葉北小学校	—	0.32
長塚	ふたば幼稚園	—	0.89
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.24
長塚	双葉町児童館	—	0.19
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.28
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.32
寺松	寺松公民館	3.46	0.67
渋川	渋川公民館	1.48	0.30
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.48
中田	中田公民館	0.77	0.14
両竹	両竹公民館	0.54	調整中
浜野	双葉町産業交流センター	—	0.04

全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶ <https://www.erms.nsr.go.jp/nra-ramis-web/g/>



ふたさぽミニコラム

こちらのコーナーでちょこちょこ紹介している我が家の息子が、いよいよ4月から中学生になります。きのこ同好会の活動がオフシーズンだった間に別の趣味を見つけたようで、今度はそちらの研究に毎日忙しいようです。世紀の大発見へ向けて、家族一同全力で応援していきたいですが、中学生になればまた新しい友達ができたり新たな興味が生れたりすると思うので、自由に楽しく生きてくれれば良いなと思います。

宮本 真澄



今月のオフショット

花絵の準備



花絵に使う花びらは
こうやってひとつひとつ
手作業で準備しています。